

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和2年 2月 6日

事業所名: 運動療育支援教室ほおずき

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<ul style="list-style-type: none"> 必要なもの以外は置かない様にしている 活動スペースも確保はされている 	はい:35人 どちらともいえない:4人 ・見学時しか見ていないので分からない ・見学した時と実際の活動の様子との差が分からないのでわかりません	<ul style="list-style-type: none"> 実際の動きを予測し、物の配置や活動時の動き方などを検討する
	2 職員の適切な配置	<ul style="list-style-type: none"> シフトで管理している 基準上で必要な人員の確保はできている 	はい:32人 どちらともいえない:6人 未記入:1人 ・見学時しか見ていないので分からない	<ul style="list-style-type: none"> 継続して適切な職員配置を徹底していく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内はバリアフリー化している 	はい:34人 どちらともいえない:4人 未記入:1人 ・その辺を視点として見た事が無い ・見学時しか見ていないので分からない	<ul style="list-style-type: none"> 十分な安全配慮を継続して行っています
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> 活動後、日々の清掃を行っている。活動前には、消毒なども行っている 安全に過ごす為、環境の調整を行っている。 	/	<ul style="list-style-type: none"> 清掃等、継続して行っています
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> フィードバック等の振り返りを行い、職員同士で情報共有、意見交換を行っている 	/	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に支援について職員が話しができる様、風通しの良い環境を整える
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	<ul style="list-style-type: none"> プログラム指導者など外部と連携し、指導方法などの改善に取り組んでいる 	/	<ul style="list-style-type: none"> 継続して連携を図り、より良い支援に繋げていく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内での定期研修、外部での研修など、研修参加の機会を設け、実施している 	/	<ul style="list-style-type: none"> 職員の資質向上に向け、継続して内外研修に参加していく
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	初回のアセスメントや更新アセスメントなどにより、児童のニーズや保護者のニーズをくみ取る機会を設け、計画に反映させている	/	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントだけでなく、日々の聞き取りなどからのニーズのくみ取りに繋げていく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援、集団支援など、状態に応じた支援方法を計画に反映させている	/	<ul style="list-style-type: none"> 個々の特性などの状態に応じて、計画を作成していく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	それぞれの児童の特性に応じた支援内容を記載している	/	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な内容でなく、わかり易い支援内容を記載していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・計画を定期的に確認し、随時修正等を行い、共有を図っている	はい:34人 どちらともいえない:5人	・計画的に計画内容を見直し、更に充実させ、それに沿った支援の実施に繋げていく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・基本プログラムは決まっており、月毎にその内容を変え取り組んでいる ・児童の状態に合わせ、個別や集団などの支援方法を計画している		・基本プログラムを基にした応用プログラムを話し合い、共通理解に繋げていく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・可能な限りニーズに沿えるよう努めている ・保護者への協力を求める機会もあるが、直接やり取りができる切欠にもなっている	はい:26人 どちらともいえない:13人 ・プログラム内容によっては苦手な為、嫌がる事もあるが、行った後は楽しんでいただけている、という意見を多くいただいた。	・ニーズの収集と分析を行い、きめ細やかな支援を行っていく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・工夫はしているが同じような内容もある ・目的に応じては、固定化し繰り返しおこなうプログラムもある ・負担ではなく、楽しんで参加できる様に考えている		・基本となるプログラム構成は決まっているが、内容や課題に関しては固定化しない様に工夫をしている。内容によって、固定化する事で効果を発揮するものもあるので、その点は理解していただけるよう、説明の機会を増やす努力をしていく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・当日の流れを確認し、各々の役割分担を共有、準備を行っている		・職員間での情報の共有、個々の支援目標の確認を継続して行っていく
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・日々の振り返りで情報共有、次の利用時の動きの確認を行っている		・今後も継続して行っていく
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・日々の個別記録、必要な記載箇所の記録の確認を徹底している		・記載漏れのない様、確認し、支援内容の検証や改善を記録に反映させていく
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・定期的なモニタリングを行い、日々の児童の様子を照らし合わせて見直しを行っている		・計画内容に具体性があるか見直しを図っていく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・児童発達管理責任者が中心となり参加している。		・引き続き、サービス担当者会議に参加し、関係機関との連携強化、情報共有に努める
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象者なし		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象者なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で の支援内容等の十分な情報共有	・直接出向き情報共有を図ったり、見学などの機会を設け、情報の共有を図っている		・必要な情報を関係機関との共有をしていく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・現在までで、実施していない		・実施した事はないが、今後情報共有を行っていく準備はしている
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・必要に応じて専門機関との連携は図っている ・研修などへの参加も職員に促している		・必要に応じ、専門機関との連携を図っていく
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・交流や活動の共有はしていません ・実際に一緒に活動する機会がない	はい:4人 どちらともいえない:20人 いいえ:14人 未記入:1人 ・同施設内に高齢者の方々がおり、機会があれば交流できればいいな、と思います。 ・健常児との交流も機会があればできたらいいなと思います	・同施設内の高齢者や近隣施設等との交流等の機会は、機会を設け実施していけるよう、検討をしています
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・現在までで、実施していない		・今後、近隣地域との連携強化に取り組んでいけるよう努める

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時に契約書、重要事項説明書にて支援の内容、利用者負担等について説明を行っている	はい:38人 どちらともいえない:1人	・今後とも、分かりやすい丁寧な説明を行っていただける様、研鑽していきます
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・保護者へ計画内容を示しながら説明し、同意を得ている	はい:38人 どちらともいえない:1人	・今後とも、分かりやすい丁寧な説明を行っていただける様、研鑽していきます
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・ペアレント・トレーニングの実施は行っていない		・今後、特性における説明や対応方法など保護者に伝えられるよう努めていく
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・連絡帳や送迎時などに、保護者から様子や課題などを伺っている	はい:38人 どちらともいえない:1人	・引き続き情報共有を図り、共通理解に努めていく
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・随時相談に対応できる体制にしている ・職員間でも共有を図り、支援に繋げている	はい:35人 どちらともいえない:4人	・相談が気軽にできるような環境を整え、職員の専門性も高めていく
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・現状、連携支援等は行っていない ・直接的な保護者同士の連携支援はしていない	はい:7人 どちらともいえない:20人 いいえ:10人 未記入:2人 ・まだその経験がありません	・ニーズをくみ取り、検討を重ねていきます
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情やご意見等いただいた場合には、ミーティングやカンファレンスを行い、都度、責任者を通し対応している	はい:21人 どちらともいえない:16人 未記入:2人 ・今のところ、苦情はありません ・そのような場面になった事が無いので、分かりかねる ・苦情等の機会に遭遇していない	・苦情やご意見等いただいた場合に、素早く適切に対応できる様にしていきます
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・活動の様子などは保護者に伝えている ・障害特性の理解のための研修を都度行い、スキルアップに繋げている	はい:34人 どちらともいえない:4人 いいえ:1人 ・きめ細やかな連絡ノートの記載や会話に安心しています	・より伝わりやすい記載の仕方や説明の仕方等含め検討していきます
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・定期的ではないも、ホームページ等に活動の様子やイベント情報を載せている	はい:20人 どちらともいえない:15人 いいえ:2人 未記入:2人 ・確認していません	・情報が分かりやすく、かつ、継続的に発信していただける様に努めていきます
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・十分に注意しながら取り扱っている ・ファイル保管は施錠できるロッカーに収納している	はい:36人 どちらともいえない:3人	・個人情報等記載されている書類は、鍵付きロッカーに保管している ・個人情報の取り扱いに関する研修も毎年行っている

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修を行い、周知を行っている ・保護者に対しての周知までは出来ていない 	はい:23人 どちらともいえない:14人 いいえ:2人	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル等に関しては、職員が閲覧可能になっている。マニュアル内容についても、都度検討を行い、更新を図っている ・保護者に対しての周知等に関しては、今後検討していく
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に実際の動き等含め、研修を行っているが全員での実施は出来ていない ・避難場所等も、直接歩き、移動にかかる時間等を計り、検討に繋げている 	はい:15人 どちらともいえない:20人 いいえ:2人 未記入2人 <ul style="list-style-type: none"> ・契約時に避難場所などの説明は受けた。訓練など実施の報告もしてほしい ・訓練する旨の連絡を受けた事は今の所ない ・普段の様子などは分からないが、きちんとされていると思っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に実施し、保護者にも分かりやすい報告をしていく様取り組んでいきます
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・年に一度、職員が参加しての虐待防止についての研修を実施している 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して、職員の意識の向上に努めていきます
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	<ul style="list-style-type: none"> ・必要の可能性がある際には、身体拘束排除委員会に問い合わせ、必要の有無等を話し合っている ・契約時に説明等も行い、同意していただいている 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して、職員の意識の向上に努めていきます
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントにてアレルギー等の聞き取りは行っている ・アレルギー等がある児童に対しては、家人に伝え、飲食全般の段取りはしてもらっている 		<ul style="list-style-type: none"> ・継続して保護者への確認は行っていき、適切な対応ができるよう注意を払っていきます
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット事例は、事業所内で記録し、共有を図っている ・検討事例に関しては、職員間で共通の認識ができるようにしている 		<ul style="list-style-type: none"> ・継続して今後も取り組んでいく